

ビジョンに掲げた 5 年間の取組		令和 7 年度の計画	構成員	連携団体	目標・実施予定内容等
諏訪湖環境研究センターの運営		諏訪湖環境研究センターの運営	諏訪湖環境研究センター		・ 諏訪湖環境研究センターにおける水質及び生態系に関する一体的な調査研究を推進
調査研究の推進	① 諏訪湖の底質、貧酸素発生状況の把握及び貧酸素の改善手法に関すること	漁場環境水質調査	水産試験場諏訪支場		・ 湖心：月 1 回 ・ 他 4 地点：週 1 回（5 月～9 月）
		貧酸素調査	諏訪湖環境研究センター	信州大学理学部附属諏訪臨湖実験所	・ 湖内連続測定 8 地点（7 月～12 月）
		底質調査	諏訪湖環境研究センター	信州大学理学部附属諏訪臨湖実験所	・ 底質酸素消費量調査 2 地点（6 月）
		プランクトン調査	諏訪湖環境研究センター		・ 植物プランクトン 1 地点（湖心） 月 1 回
			R7～諏訪湖環境研究センターで実施		・ 動物プランクトン 1 地点（湖心） 月 1 回
	② 貧酸素水塊の挙動に関すること	貧酸素調査（再掲）	諏訪湖環境研究センター	信州大学理学部附属諏訪臨湖実験所	・ 湖内連続測定 8 地点（7 月～12 月）
	③ ヒシ除去場所及び覆砂場所における水質浄化効果と生態系に及ぼす影響に関すること	覆砂場所モニタリング	諏訪湖環境研究センター		・ 水質 4 地点（3 年に 1 回実施、令和 7 年度は実施なし） ・ 底質 4 地点（3 年に 1 回実施、令和 7 年度は実施なし） ・ 底生生物（シジミを含む）の環境 DNA による調査手法の検討
		水質モニタリング	諏訪建設事務所		・ 下諏訪町高浜沖他（7 月～10 月 月 1 回）
		覆砂場所生物モニタリング（シジミ）	水産試験場諏訪支場		・ 自然繁殖したシジミの生息調査： 6 地点（5 月、8 月、1 1 月）
		底生生物・魚の定性調査	水産試験場諏訪支場		・ 底生生物・魚種別の個体数： 6 地点（6 月、8 月、10 月）
	④ 沈水植物の分布状況、水生植物の適正管理など植生に関すること	水生植物分布調査	水産試験場諏訪支場		・ ヒシ及び水生植物の分布 全湖岸水域（7～8 月 年 1 回）
		湖辺植生調査（沈水植物、抽水植物等）	諏訪建設事務所		・ C ゾーン（R3 水辺整備箇所）年 3 回（春、夏、秋）
		湖辺植生調査（抽水植物等）	環境保全研究所 諏訪湖環境研究センター		・ 抽水植物帯の動植物調査（年 5 回・ 6～10 月） ・ ドローンによる空撮（5～10 月、月 1 回程度） ・ 人工衛星画像によるモニタリング手法の検討
	⑤ 水質や関係データの解析、汚濁負荷物質の収支など汚濁負荷のメカニズムに関すること	水質常時監視	諏訪湖環境研究センター		・ 湖内環境基準点 3 地点及び釜口水門 月 1 回
		水質常時監視（流入 4 河川）	水大気環境課 諏訪湖クラブ		・ 上川、宮川、砥川、横河川 6 地点（月 1 回）〔外部委託〕（水大気環境課） ・ 諏訪湖流入河川、天竜川で計 30 地点（全国一斉水質調査、6 月 2 日）（継続）
		水浴場水質調査	諏訪湖環境研究センター		・ 湖内環境基準点 3 地点 年 2 回（5 月、8 月）
	⑥ 諏訪湖に流入する河川の水量、諏訪湖への地下水流入の状況など水の流れに関すること	流入河川水量等調査 （平成 30 年度～令和 6 年度まで実施）			
	⑦ 流出水対策地区における汚濁負荷の低減に関すること	流入河川負荷量等調査	諏訪湖環境研究センター		・ 上川 10 地点（年 4 回）

ビジョンに掲げた 5 年間の取組		令和 7 年度の計画	構成員	連携団体	目標・実施予定内容等
調査研究の推進	⑧多様な魚類の生息環境を形成するための技術に関すること	魚群探知機による資源量調査	水産試験場諏訪支場		・ワカサギ資源尾数推定 湖内全域 (6～11 月 月 1 回)
		稚魚ネットによるワカサギふ化仔魚調査	水産試験場諏訪支場		・湖心、高浜 各 1 地点 (4～6 月 9 回)
		漁獲量等調査	水産試験場諏訪支場	諏訪湖漁協	・湖内全域 (毎月)
	⑨マイクロプラスチックの存在実態把握に関すること	諏訪湖まるまるゴミ調査	ビジョン推進会議構成員他		・第 5 回諏訪湖まるまるゴミ調査 11/9
		マイクロプラスチック調査	諏訪湖環境研究センター		・土地利用の異なる 4 地点で流出特性を把握するための調査を実施 (年 2 ～ 4 回)
	⑩有害化学物質の環境残留実態と生態系への影響に関すること	環境残留実態調査	諏訪湖環境研究センター		・ネオニコチノイド系農薬の調査(5 月、7 ～ 8 月、上川 4 地点・宮川 6 地点・諏訪湖心) ・環境省委託事業の初期・詳細・モニタリング調査 (10～12 月)
	⑪諏訪湖の水質・生態系への気候変動の影響と適応策に関すること	気候変動による災害地支援	和限	NPO 法人どんぐりモンゴリ	・炭素保全による温室効果ガス削減、災害地の再生として、水草堆肥、炭利用
		定点撮影カメラによるヒシ等の分布および結氷状況のモニタリング調査	環境保全研究所	国立環境研究所 信州大学理学部 附属臨湖実験所	・観測地点 6 箇所：湖面全域 (日中 2 時間おきに画像を取得)
	⑫その他	カモ類 (魚食性鳥類を含む) 生息個体数調査	諏訪地域振興局林務課		・6 月、10 月、1 月に諏訪湖及び主な流入河川、天竜川で調査を実施予定
		諏訪湖カワアイサ対策生態調査 (R1～R5 年度に実施済)			
		指標水生動物 (カマナエ) の保全に向けた啓発	諏訪地域振興局環境課 諏訪湖環境研究センター		(県環境課) ・メガネサナエ保全 WG による検討 (諏訪湖環境研究 C) ・流入河川の成虫調査 (6 月～ 9 月、6 回) ・諏訪湖岸の羽化殻調査 (6 月～ 8 月、6 回)